

(ST2023 カリキュラム用)

**2026年度秋 Semester 学部演習科目募集要項**

**1. 学部演習科目 (ゼミ) とは**

(1) ゼミとは、専門的知識の習得と卒業成果物の作成を目的に、5 Semesterと6 Semesterの専門演習、7 Semesterの卒業研究、8 Semesterの卒業プロジェクトの一連の科目のことを指します。2年間にわたり基本的には同じ指導教員の下で実施される少人数制の演習科目です。詳細については、以下の情報を確認してください。

- ・ 科目一覧 (単位数、学修分野、受講登録上の注意事項など)
- ・ シラバス (到達目標や授業方法、成績評価方法など)
- ・ 開講ゼミ一覧 (申請可能な指導教員、開講言語など)
- ・ ゼミ要覧 (個々のゼミの詳細)

(2) 3回生ゼミ「専門演習」は受講指定科目となっているため、全学生が受講する必要があります。


(3) 学生からの申請と教員による選考に基づいて基本的に大学が受講登録を行います。

**2. 科目情報**

(1) 基本的な考え方

2023 カリキュラムでは ST 所属学生**全員**が必ず3回生次に3回生ゼミ「専門演習」を受講する必要があります。4回生次の卒業研究、卒業プロジェクトの受講は任意ですが、卒業プロジェクトを受講するためには卒業研究で P 評価を取得しておく必要があります。また、卒業プロジェクトを受講しない場合は、キャップストーンを受講し単位を修得することが卒業要件となります。また、ST 学生は ST 教員のゼミのみ受講可能です。

図の通り、4 Semester次に受講申請を行い、選考を経て所属ゼミが決まります。5 Semester以降に2年間に渡り基本的には同じ指導教員の下で学修します。なお、受講登録は抽選登録期間の前に大学にて実施します。

第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester	第7 Semester	第8 Semester
受講申請	専門演習 【履修指定科目※1】	専門演習 【履修指定科目※1】	卒業研究 【「卒業プロジェクト」 前提科目】	卒業プロジェクト 【選択必修科目※2】
大学にて受講登録 				

※1 履修指定科目：全学生が受講するよう学部則にて定められている科目です。必ず受講する必要がありますが、有効評価 (C 以上) を取得することは卒業要件ではありません。なお、「専門演習」は5 Semester次と6 Semester次の計2回受講します。

※2 選択必修科目：「卒業プロジェクト」もしくは「キャップストーン」のいずれかの単位を修得することが卒業要件となっています。「キャップストーン」の単位を修得する場合は、「卒業研究」および「卒業プロジェクト」の単位を修得する必要はありません。「キャップストーン」と「卒業研究」/「卒業プロジェクト」の両方を受講することは可能ですが、卒業成果物作成にかかる時間を考慮し、どちらも単位習得できない可能性を避けるために同時履修は推奨しません。

## (2) 時間割

教員によりゼミの時間割は異なります。ゼミ要覧にゼミの曜日時限を記載していますが、これは今後変更の可能性が  
あります。最終的なゼミの曜日時限は公開される時間割表にて確認してください。なお、原則的に 3 回生ゼミ「専門演  
習」では 5 セメスターの学生と 6 セメスターの学生が合同で、4 回生ゼミでは「卒業研究」と「卒業プロジェクト」の両受  
講生が合同で授業を受講します。

## (3) ゼミの変更及び受講取消

3 回生ゼミ「専門演習」について、受講取消や所属ゼミ決定後のゼミの変更は出来ません。7 セメスター次の「卒業  
研究」は原則として 3 回生ゼミと同じゼミに全員大学が登録します。ただし、5 セメスター及び 6 セメスター次に他のゼミ  
に変更を希望する学生は、変更の申請が可能です。ただし、希望のゼミの定員などの関係で希望通りになることは保証  
できません。なお、現在 6 セメスター生で他のゼミに変更して卒業研究を受講する学生は、必ず申請前に希望するゼミ  
の担当教員に相談し事前に受け入れ許可を得てください。

申請を行った結果、変更が認められなかった場合については申請時の所属クラスへ受講登録が行われます。  
「キャップストーン」の単位を修得する予定の学生で、卒業研究の受講を希望しない場合は、抽選登録期間、先着登  
録 A 期間、先着登録 B 期間、受講辞退期間 1 に自分で「卒業研究」科目を取消してください。なお、受講取消を行  
った場合については、再度受講登録を行うことが出来ません。操作方法の誤り等により受講取消をした場合でも救済  
措置は設けられていませんので、操作の際は十分注意してください。

※「キャップストーン」については、7 セメスター次、または 8 セメスター次に自身で受講登録してください。

## (4) 定員

ゼミは出来る限り少人数の編成にするため、各ゼミの受講者数を平準化するために定員が設けられます。各ゼミの定  
員はおおよそ 20 名弱になる見込みですが、正確な定員は申請及び選考の過程で決まります。また、春セメスターと秋  
セメスターそれぞれの申請者見込数に応じて、春と秋それぞれに定員を設定します。

## 3. 申請について

### (1) 申請要件

全体としての申請要件はありません。なお、日本語基準学生が英語開講のゼミに申請する場合は、申請時に英語  
中級 A・B 両方の単位修得をしていることが必要です。

### (2) 申請方法

以下について留意のうえ、後述する申請期間内にオンライン申請フォームより申請してください。

- ・必ず事前に本募集要項、ゼミ要覧等を精読してください。
- ・期限後の申請は理由の如何を問わず受け付けません。
- ・ゼミの定員を超過した場合は選考が実施されるため、必ずしも希望ゼミに所属できる訳ではありません。申請時  
には必ず第 5 希望までのゼミを選択し、あわせて希望するコンセンテーションを 3 つ選択してください。
- ・ゼミで研究したい内容について具体的に記載（文献講読で学修済/学修中の内容、もしくはご自身の活動経験  
に基づく内容でも可能です。）

### (3) 選考

希望者数が定員を超過した場合には、指導教員による選考が実施されます。選考では申請フォームで提出された内容を中心に、成績を含めた総合的な観点から実施されます。また、教員が必要と判断した場合、面接を行う場合があります。選考結果に関するご質問には一切お答えできません。なお、選考に当たっては希望順位の高い学生を優先的に受講者として配置します。

選考の結果、いずれのゼミにも所属できなかった場合、もしくは申請を行わない場合は大学が所属ゼミを決めます。

### (4) スケジュール

内容	日程
① 募集情報（要項、ゼミ要覧等）確定版の Web 掲載	2026 年 4 月 13 日(月)
② 面談期間	2026 年 4 月 13 日(月)～4 月 30 日(木)
③ 説明会 ※詳細は別途ご案内予定です。	2026 年 5 月 20 日(水)
④ 申請期間 ※全員	2026 年 5 月 21 日(木)～6 月 3 日(水) 13:00
⑤ 所属ゼミ発表	2026 年 7 月下旬

※上記スケジュールは変更となる可能性があります。

### (5) その他の申請に関する留意事項

#### 1) 交換留学（派遣）への参加学生

留学中であるかどうかに関わらず、受講申請は 4 セメスター次に必ず実施してください。5 セメスターまたは/および 6 セメスター次に交換留学に参加中の学生は、3 回生ゼミ「専門演習」の受講が免除されます。交換留学から復帰するセメスターには、留学前/留学中の申請・選考により決まった所属ゼミへ大学が受講登録を行います。なお、7 セメスター次に交換留学に参加中の学生は 4 回生ゼミ「卒業研究」を遠隔指導にて受講します。

#### 2) 在籍状態が「通常」のまま派遣が行われるプログラムへの参加学生

在籍状態が通常のまま派遣が行われるサービラーニング、日本語パートナーズ、ジャパンエンターテイメントインターンシッププログラムに参加する学生については、派遣期間中オンラインにて受講を行います。

#### 3) 休学予定の学生

受講申請は 4 セメスター次の申請期間に必ず実施してください。4 セメスター終了直後に休学を予定している学生も 4 セメスター次（休学前）に必ずゼミの受講申請を実施してください。休学中、あるいは休学後のゼミの受講申請は認められません。

#### 4) 3 回生編入学・転入学の学生、5 セメスター次に ST へ転籍する学生、3 回生以上で再入学する学生、交換留學生（協定大学→APU）

通常とは異なる時期に申請期間を設けます。具体的な申請期間は Academic Information Web サイトに掲載します。

#### 5) 早期卒業プログラムへの登録学生

①早期卒業の学生は 3 回生ゼミ「専門演習」を受講登録されますが、希望する場合は受講免除が可能です。3

回生ゼミの受講免除を希望する学生は、以下の期日までにアカデミック・オフィス (seminar1@apu.ac.jp) へ申し込んでください。

春セメスターの「専門演習」の受講免除期限：受講の前年度 2 月末まで

秋セメスターの「専門演習」の受講免除期限：受講の当年度 8 月末まで

②下表のとおりを受講登録を行います。

4 セメスター	5 セメスター	6 セメスター
(受講申請)	・専門演習※1 ・卒業研究※2	・専門演習※1 ・卒業プロジェクト※2

※1 受講免除期限までに申請すれば受講免除が可能です。

※2「キャップストーン」を受講予定の学生で、卒業研究、卒業プロジェクトの受講を希望しない場合は、自分で「卒業研究」科目を取消してください。なお、早期卒業プログラム登録学生における「キャップストーン」配当セメスターは 6 セメスターです。

#### 4. 卒業成果物

卒業成果物に関する説明を参考として記載しますが、実際に作成する際には指導教員の指示に従って作成、提出するようにしてください。なお、卒業成果物はゼミの開講言語にて作成する必要があります。ゼミの開講言語は開講ゼミ一覧を確認してください。

##### (1) 卒業プロジェクトとは

8セメスターの学生が対象となる本科目では、学生各自がこれまで蓄積した問題関心や知識・技法や社会活動経験を活用し、学生が自身で設定したテーマに基づき、学生個人作成の成果物として卒業論文もしくはアクティビティ・レポート形式で成果物としてまとめあげます。教員はそのための学生の研究・執筆を指導します。

<卒論、アクティビティ・レポートの文字数>

日本語 15,000 字、英語 6,500 Words 以上 (最低目安)

論文、レポートは文字数や内容、構成が異なります。[「APU ライティング・マニュアル」](#)および[「卒業成果物に関する説明」](#)を参考にすると同時に、教員の指導内容をよく理解して執筆に臨んでください。

##### (2) 提出方法

卒業成果物は Moodle へのオンライン提出となります。具体的な提出方法と期限は Academic Information Web サイトの「演習科目 (ゼミ)」ページに掲載します。

#### 5. その他留意事項

##### (1) 指導教員が学外研究制度 (ADL) に参加する場合

APU には学外研究制度 (ADL) という教員向けの制度が存在します。本制度が適用される教員は 1 セメスターの間、授業を担当することなく海外を含む学外での研究活動に専念することになります。対象教員については開講ゼミ一覧に確認してください。所属するゼミの指導教員に ADL が適用される場合、ゼミの取り扱いは以下の通りとなります。

### ・3 回生ゼミ（専門演習）

ADL のセメスターではゼミは実施されません。次セメスターに ADL を取得する教員のゼミには応募できますが、次セメスターにはほかのゼミへの変更申請手続きが生じます。

### ・4 回生ゼミ（卒業研究/卒業プロジェクト）

以下いずれかの方法でゼミが開講されます。どちらの方法になるかは指導教員と大学が協議して決めます。

- 1) 指導教員が研究先から遠隔（オンライン）にて指導を行う。
- 2) 指導教員の代わりに別の教員による指導を受ける。

### (2) 学部必修科目との時間割重複

学部必修科目とゼミの時間割が重複した場合であっても、大学による受講上の配慮はありません。学部必修科目はできるだけ早期に単位修得することを推奨します。

### (3) GIS 学術士へ申請予定の学生へ

GIS 学術士には申請条件の 1 つに「GIS を活用した卒業論文を執筆し、単位修得する。」ことが定められています。GIS 学術士に申請予定の学生は、申請予定のゼミ指導教員が GIS を活用した卒業論文指導が可能か予め確認することを推奨します。

Academic Information Web サイト（GIS 学術士）：

<https://www.apu.ac.jp/academic/program/Certifications/>

## 6. 問い合わせ先

問い合わせの前には必ず本募集要項を精読してください。問い合わせは基本的にメールでお願いいたします。また、回答までに数日要する場合がありますので、予めご了承ください。

アカデミック・オフィス 学部演習担当

Email: seminar1@apu.ac.jp